

ZENRAKUREN 全酪連会報 6

2025 JUN No.717



若手後継者の本音／
小久保海さん

第52回全国酪農青年女性
酪農発表大会
発表者決定!!

品質保証室だより／
夏場のエサ管理・食品安全文化

日本酪農見て歩紀／
十勝農協連湧洞牧場
(北海道広尾郡大樹町)

酪農トピックス／
「第14回青木農業祭2025」開催
～農業をもっと身近に!～
(東京)ほか

栄えある春の叙勲・褒章
水際対策で家畜伝染病予防を!

全酪新報ダイジェスト版

作品募集のお知らせ

第52回 全国酪農青年女性
酪農発表大会開催のお知らせ

全酪連ギフト商品について

全酪連 定期刊行物のご案内

バックナンバーはQRコードから閲覧いただけます。



全酪連会報

⇒ <https://www.zenrakuren.or.jp/kaiho/>

COWBELL

⇒ <https://www.zenrakuren.or.jp/cowbell/>



全国酪農業協同組合連合会

今回ご紹介するのは、熊本県阿蘇市で酪農を営む(有)もりもと牧場の代表取締役、小久保海さん(37歳)です。所属している大阿蘇酪農業協同組合(山本健一代表理事組合長)は、酪農家戸数13戸(令和7年4月現在)、出荷乳量26,384t(令和6年度実績)となっています。

地域の概要

熊本県の東部に位置する阿蘇地域は、日本を代表する活火山「阿蘇山」を中心に広がる、豊かな自然と歴史、文化が息づく場所です。世界有数の規模を誇る阿蘇カルデラの壮大な景観は、訪れる人々を圧倒し、四季折々の風景が心を癒してくれます。

阿蘇の豊かな自然が育む水と土は、農畜産業にも恵みをもたらしています。阿蘇の湧水群は環境省の「名水百選」にも選ばれており、冷たく清らかな水は地元の野菜やお米を育て、おいしい乳製品をつくる源となっています。特に阿蘇のジャージー牛乳やチーズ・ヨーグルトなどは全国でも高く評



▲ 小久保 海さん

今回は、熊本県阿蘇市(有)もりもと牧場の後継者 小久保海さんにお話を伺いました。

価されています。

また、阿蘇の雄大な草原で育つ「くまもとあか牛」は、熊本県が誇る和牛の一種で、ヘルシーな赤身とほどよい脂の旨み特徴です。名物の「あか牛丼」は、柔らかくジュシーなあか牛のスライスを贅沢にご飯の上にした逸品。阿蘇を訪れるなら一度は味わいたいご当地グルメの代表格です。



就農までの経緯

小久保さんは、北海道大空町で酪農家の5人兄弟の末っ子として生まれ、牛がいる日常は生活の一部で、幼少期から当たり前のよう実家の牛舎作業の手伝いをされていました。進学を機に家業から離れ、全酪連に就職。在籍中には熊本駐在を約6年担当され、日々酪農家のもとを飛び回るうちに「自分だったらどんな風に牛を飼おう」と考えることが増えていったそうです。

就農を志すことになったきっかけを質問すると、「これといったきっかけはなかったが、酪農家のDNAが自然とそうさせたのだと思う」と笑いながら答えてくれました。ご実家の小久保牧場はご長男が継がれており、「実家に帰ることも考えたが、敷かれたレールに乗っかっ

ていく人生は面白くない」と、久しぶりに先輩小久保さんのストイックな漢(まじ)発言を聞くことができました(笑)。

小久保さんが就農を志し始めた頃、新規就農や牧場従事等を志す担い手を育成し就農に結びつけることを目的とした組織である「全酪アカデミー」の発足に向け、全酪連と全国酪農協会による動きが本格化していました。

小久保さんは、第1期生として全酪連若齢預託熊本牧場(熊本県菊池市)、(株)宮本牧場(熊本県玉名市)、就農先となる(有)もりもと牧場での計3年間の研修を経て、2023年9月に念願の新規就農を叶えました。

就農の方法

小久保さんはM&A方式(株式譲渡)による第三者継承で新規就農しました。法人の(有)もりもと牧場のオーナーである森本夫妻が保有する全ての株式を、小久保さんが数年かけて取得することで



▲ 牧場から望む広大な自然と阿蘇の山々

若手後継者の 本音

Vol.75



▲ (有)もりもと牧場の全景

【経営概況】

所 属 大阿蘇酪農業協同組合(山本健二代表理事組合長)

家族構成 小久保海さん(37歳)、博美さん(奥様)、柚輝くん(4歳)、星南ちゃん(2歳)

飼養頭数 経産牛 約150頭、育成牛 約80頭

出荷乳量 1,418,948kg (R6年度)



記念すべき全酪アカデミー 第1期生! 人との繋がりを大切にさらなる高みへ

経営を引き継ぐという方法です。(有)もりもと牧場が法人化するタイミングから携わっていた森税理士(株)アグリビジネスソリューションズ)が、全酪アカデミーの監事でもあり、株式譲渡の方法や返済計画も含め、無理なく引き継ぐシステムを整えてくれたそうです。新規就農は多額の資金が必要となるケースが多いですが、このシステムにより、就農に向けて貯めた自己資金400万円で酪農経営をスタートすることができたといいます。

しっかりと利益を出す経営を行い、予定通り無事に全ての株式を取得することを当面の目標にしています。

就農後の苦労

「実際に就農してみても理想と現実どうでしたか?」と思いついて率直な質問をしてみました。

「全酪連在籍中に学んだ様々な知識は、ほぼ通用しなかった」と職員としてはショックな返答。机上の理論や理屈は、生き物・自然と向き合う酪農業においては、なかなか理想通りにはいかないという厳しい現実を再認識させられました。色々試してみても、上手くいかない時は違うやり方を試してみる、そうしたトライ＆エラーを繰り返しながら地域や牧場に合った飼養管理や手法を模索しているとのこと。酪農家同士の繋がりも大切にしており、酪農家仲間と相談してみることが多いそうで、「失敗談も含め経験則に基づいた酪農家の生の声は、やはり学ぶことが非常に多い」と語ってくれました。

また、実家の小久保牧場では、自給飼料関連の作業をコントラクターに委託しており、全酪アカデミーの研修先でも自給飼料関連の作業を経験する機会がほとんどなかったことから、就農後にとっても苦労したそうです。就農後は、しめの年は、継承者の森本勝義さんの手を借りながら機械の操作方法や技術を学び、現在はイタリアン・稲WCS・牧野組合からの借地圃場、計約60haの収穫を行っています。取材当日も収穫作業真っただ中で、雨天予報がはずれ晴れていたため、しきりに天気予報を見て気がじしゃない様子は、正に酪農家そのものだと感じました。自給飼料の作柄は、その年の経営を左右すると言っても過言ではない重要事ですから当然です。多忙な収穫時期の作業の合間に取材対応の時間を作っていただき、ありがたかったです。

現在の取り組みと今後の展望

増頭による出荷乳量の増加

後継牛確保・増頭を目的に、未経産牛には全頭雌雄判別精液を授精しています。幸い経産牛の事故も少なく更新率は2割程度で済んでいるそう。自家保留牛のみで昨年より10頭程増加し、現在の経産牛頭数は150頭です。倉庫を改築して育成舎にし、育成牛を移したスペースを活用してあと10頭は増頭したいと考えているそうです。「できるだけ早くフルで搾ることが儲かるポイントだ、固定経費は変わらないのだから牛舎を遊ばせるな」と、研修先でお世話になった宮本さんから、そしてご実家のお父様からも同じアドバイスをもらったと言います。

圃場面積の拡大と粗飼料自給率向上

堆肥散布先がやや手狭であり、また、近隣の耕種農家が高齢化してきていることから、圃場



▲ パラー (6頭ダブル・バラレル)



▲ 処理室



▲ 牛舎内部の様子とエサ寄せロボット



▲ 堆肥舎

面積の拡大を模索しているようです。現在乾物ベースで半分程度の粗飼料自給率をさらに引き上げ、将来的には粗飼料自給率100%としたい構想があります。

自給飼料収穫作業の一部外部委託化による品質向上と負担軽減

イタリアンと稲WCSの収穫時期が被ってしまったり、牧場から離れている圃場の作業効率が悪かったりするため、現在試験的に稲WCSの一部圃場の収穫を作業委託しています。適期収穫による品質向上と、収穫期の圃場作業負担軽減による牛群のさらなる生産性向上を図っていききたいとのこと。最後

この度はご多忙の中取材にご協力いただき、ありがとうございました。全酪連を退職されると聞いた時は寂しい気持ちもありましたが、こ

最後に

の度の取材で、酪農家として、2人のお子様の父親として奮闘される小久保さんの姿を見て、誇らしく嬉しい気持ちになりました。今回はぜひ「日本酪農見て歩紀」のコーナーでさらにパワーアップした小久保さんを取材させていただきますのを楽しみにしています。ゆくゆくは、ぜひ酪農青年女性会議の発表大会の舞台にも……！

最後になりますが、(有)もりもと牧場と熊本県の酪農・畜産のさらなるご発展ならびに小久保家と森本さんご夫妻をはじめ、(有)もりもと牧場のご関係者の皆さまのご健康とご多幸を心より祈っています。

(B・Y)

● YouTube (就農までの経緯)



● 一般社団法人全酪アカデミー



全国の若手後継者の皆さんへの一言!

酪農はきつくて大変というイメージがありますが、しっかりとやれば農業の中で一番儲かると思います。様々なことに挑戦し、壁にぶつかりながらも、乗り越えてがんばっていきましょう!



第52回 全国酪農青年女性酪農発表大会

発表者決定!!

「第52回全国酪農青年女性酪農発表大会」（全国酪農青年女性会議（中村俊介委員長）と本会共催）を7月17日・18日に岡山県岡山市「ホテルグランヴィア岡山」にて開催いたします。

是非、各地域会議から選ばれた11名の皆様の発表を聞きに、会場に足を運んでいただけるのをお待ちしております。

今号では各地域会議からの発表者をご紹介します。

経営発表の部



関東甲信越酪農青年女性会議

栃木県酪農協同組合

前田

匡彦さん

「畑のおじさんになりたくて」
第二章 しのもめファーム奮闘記

～決意と希望のメッセージ～

小さい頃から農業に憧れ、中学生で酪農を知り、学校法人の農場長として酪農に従事し、離農した牛舎を

借りて念願の牧場経営を開始。寒冷・飲水対策、カウコンフォート、作業の効率化と衛生管理の向上によ

り乳量・乳質を改善してきた。自給粗飼料の増産と良質堆肥の草地還元による循環型酪農も計画的に進め、農商工連携による生乳の付加価値向

上や消費者との交流にも努め、地域に根ざした持続可能な酪農を目指している。



中部酪農青年女性会議

浜名酪農協同組合

伊藤

志穂子さん

家族経営からの脱却

～人材管理による安定経営を目指して～

酪農とは全く関係のない家庭で生まれ育った。結婚後、最初は酪農に携わってこなかったが、牧場の規模拡大に伴い、自ら酪農経営に参画し、これまでの家族経営の形態から、従業員自らが自分の考

えをもって作業を行える業務形態へと進化させていった。雇用の充実・安定により経営の安定を目指し、近隣酪農家の安定も考え、活動されている。



北海道酪農青年女性会議

標茶町農業協同組合

大宮

睦美さん

畜産危機を乗り越える

新規就農者の生存戦略

2017年に第三者経営継承により新規就農。「圃場からの栄養収量を引き上げると同時に牛のパフォーマンスを最大限に引き出す」という目標のもと、限られた圃場

面積の有効活用かつ栄養価の高い牧草の生産、牛の能力を最大限に引き出す飼養管理により、現在の厳しい環境下においても売り上げを伸ばしている。



東北酪農青年女性会議

山形県酪農農業協同組合

羽隅 匠さん

これからも親子で継承する酪農経営を

「後世の羽隅家も稼業として継承し続けられる酪農経営としたい」という力強い目標を持ち、就農直後から「飼料給与メニューの改善」や「ゲノム分析を取り入れた牛群改良」

「牛舎環境改善」「自給飼料生産性の向上」など様々な方向から経営向上に取り組み続け、今後はさらに「自家育成販売」「作業の省力化」を目指していく。

西日本酪農青年女性会議

大山乳業農業協同組合

福田 寛さん

時間にゆとりを持てる酪農経営を目指して



平成9年に中国四国酪農大学を卒業後、大山放牧場に就職し、管理方法や繁殖技術を実践した後、平成12年に実家に就農され、令和4年に経営の移譲を受け牧場主となった。

独自の白バラ認証制度の認定がされ続けるよう、日頃から飼養衛生管理基準と生乳生産管理に努めている。

良質な生乳生産に向けた様々な取り組みを行うことにより、97%以上の牛を正常に搾乳するとともに、大山乳業農業協同組合の定める良質生乳基準をクリアし、良質生乳出荷者としての表彰も受けている。また、鳥取県



九州酪農青年女性会議

玉交酪農農業協同組合

高木 大輔さん

高能力、低コストで目指す安定経営

酪農学園大学短期大学部卒業後、道内や海外での実習を経て実家に就農。牧場の理念、牛の負担軽減とコスト削減、プラスになることはやってみる。の精神のもと、まず挑戦し、情報のアンテナを張っ

ている。特徴として、飼料高騰を踏まえエコフィードの活用や採草地による圃場の拡大などで大幅なコスト削減を実現。今後は牧場全ての牛を自給粗飼料で賄えるように努力を続けていく。

意見・体験発表の部

西日本酪農青年女性会議

おかやま酪農農業協同組合

雲岡 阿耶さん

共働きの理想形、「1」にあり。

酪農×家族のかたち



山形県で育ち、両親とも会社員の非農家出身。大好きな美術と歴史を生かした文化財の修復を学びたいと思い、岡山県の大学に進学。さあ就活というところでリーマン

シヨックに遭われアルバイト先で酪農業を営んでいたご主人と出会い結婚。新生活は超過酷だったが家族に助けられた。「酪農は共働きの理想の形」と感じ、牛舎で仕事をしながら

ら子供達の成長を感じられる。雲岡さんが仕事に集中できるのは子供達、そして家族があつてこそ感謝されている。



関東甲信越酪農青年女性会議

埼玉酪農農業協同組合

秋山 淳子さん

出会いが紡ぐ人生の物語

～Meet to Change of Life～

アメリカのオハイオ大学に留学。帰国後は、キャンペーンガールにもなり、イケメン営業にひかれて小さなIT企業に入社すると、なんと孫正義が社長だったというテレビドラマのような青春を過ごした。メールの宛先間違いで「素敵な声」のご主人と出会い、ご主人の自宅へ遊びに行

くと、仲良く酪農に励むご両親がいて、そんな両親の後ろ姿に将来の自分の姿を見出された。そして始まる酪農の歩み。「外から眺める酪農と実際に働く酪農では180度違う」と痛感したが、様々な人との出会いを大切に、多忙ながら充実した日々を過ごしている。



九州酪農青年女性会議

佐賀県農業協同組合

古川 真弓さん

夢を叶えた、その先へ

～モーモー母ちゃんDX～

幼い頃から牛に興味を持ち、縁あつて、今の嫁ぎ先の牧場に永遠就職。酪農教育ファーム活動を行っていた義母に感銘を受け、酪農教育ファーム認証牧場、ファシリテーター

を取得。共進会で学生達と交流し、子供達へ出張酪農教室を行うなど、パワフルモーモー母ちゃん2代目として酪農の楽しさ、命の温かさを伝えるため、活動を行っている。



北海道酪農青年女性会議

釧路太田農業協同組合

澤口 裕斗さん

人との繋がりが私を酪農の道へ

大学卒業後、社会人経験を積み2022年に実家に就農。サラリーマン時代に培った営業力を駆使し他の酪農家や関係会社、団体との繋がりをづくり、情報収集、勉強会など

非常に高い向上心を持ち活動している。牧場の目指す経営においては「持続可能な経営」を掲げ、コスト上昇への対応策として化成肥料の減肥に目標を立てて取り組んでいる。



東北酪農青年女性会議

福島県酪農農業協同組合

椎谷 美保さん

牛の幸せは私の幸せ

非農家出身であるが、酪農家である旦那さんと出会い、牛の可愛さも魅了され就農。就農当初にアニマルウェルフェアの考えに感銘を受けたが、家族との考えの違いもあり、まずは自分だけでも取り組もうと牛への接し方を工夫した。その姿を見て次第に家族も牛への接し方が変わってきて、今では家族で牛の幸せを考えて経営している。これからも人と牛が幸せな酪農を目指していく。



大会の詳細は、27ページをご参照ください。お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

夏場のエサ管理

牛のための夏対策、できていますか？

ここ数年、夏場の気温は年々上昇しており、「猛暑日」や「酷暑日」といった言葉も日常的に耳にするようになってきました。近年の夏は人にとっても、牛にとっても過酷な季節です。

だからこそ、これまで以上に夏場の対策を意識し、少しでも快適な環境づくりに努めることが重要です。

特にこの季節は、牛の暑熱ストレスだけでなく、配合飼料の品質トラブルが増加する傾向にあります。

「カビの発生」「飼料の固まり」「虫の発生」といったトラブルは、年間を通して特に5月～10月に集中しており、全体の約7割を占めています。こうした問題の背景には、飼料の長

期保管が主な原因としてあります。

「先入れ・先出し」で品質キープ

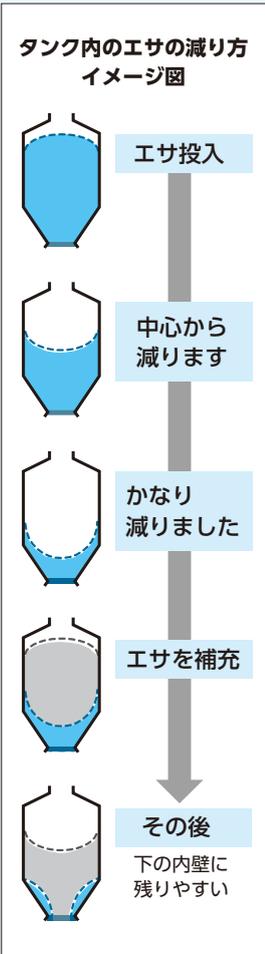
夏場対策の一環として、飼料の在庫管理(先入れ・先出し)があります。

紙袋で保存している配合飼料は、製造日の古い順に使用することで管理しやすくなります。

一方で、タンク保管の場合は注意が必要です。タンクの構造上、どうしても流れにくく滞留しやすい部分が存在します。そこに古い飼料が残りがちで、知らず知らずのうちに長期保管となり、品質劣化の原因になってしまいます。

タンク清掃は月1回を目安に

タンク内のトラブルを防ぐためには、定期的にタンクを空にして清掃



することが重要です。

特に、高温多湿となる夏場は、月1回を目安にタンク内清掃を実施しましょう。

定期的な清掃により、飼料の滞留を防ぎ、新鮮な飼料を供給できる環境が整います。

これから暑くなりますが、牛たちの健康と生産性を守るために、日々の飼料管理にひと工夫を行い、今年の夏もしっかりと備えましょう！

夏場の対策例

*工場からの飼料出荷

- 夏場は飼料の変敗リスクを避けるため、冬場に比べて引き取り回数を増やし、「1か月分まとめての引き取り」は行わない。
- ウイング車での輸送時は荷台に熱がこもりやすく、製品温度が上がりやすいため、可能な限り速やかに倉庫へ搬入。
- 当日荷下ろしできない場合は車両ごと倉庫内に入れ、品質低下防止のため、サイドパネルを開放して熱を逃がす。

*会員倉庫・SPから牧場への配送

- タンク投入のタイミングは、在庫量が「半日～3日分」になっ

てから行うことで、長期保管による品質劣化を防止。

- 飼料投入前にゴムハンマーでタンクの側面を軽く叩き、内壁に付着した飼料を落とす。

*牧場でのタンク清掃

- 生産者と運送業者が密に連携し、タンク清掃と次回飼料投入のタイミングを調整。
- カビや虫の発生が確認された場合は、タンクを空にして洗浄を行う。
- 梅雨明け後は、すべての飼料タンクを1度空にするルールを設定。

ポイント

- 飼料の品質劣化トラブルは夏場に集中。
- 品質劣化の原因は主に「タンク内の長期保管」
- 「こまめ配送＋定期清掃＋熱対策」の3本柱で品質管理の徹底。
- 先入れ・先出しの徹底と月1回のタンク清掃。

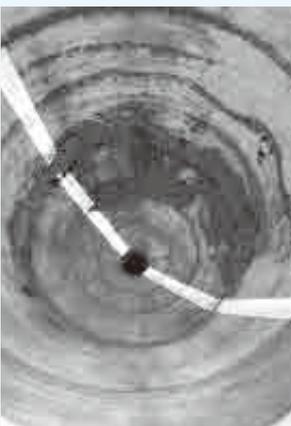


写真: タンク内飼料残留

食品安全文化

近年、食品業界では食品安全文化という考え方が注目されています。これは単にルールを守るだけでなく、組織全体で食品の安全を最優先に考え、行動する文化を意味します。

すべての従業員が安全と品質を常に意識し、それが自然な行動として日々の業務に表れることが理想です。

そのためには、1人ひとりが“なぜこのルールを守るのか”を理解し、自発的に取り組む姿勢が求められます。さらに日々の中で気づいたことを共有し合うことで、リスクを下げ、ミスを未然に防ぐことができます。オープンなコミュニケーションを土台

にした職場こそが、食品安全文化を育てていくうえで重要です。

このように、品質の視点が日常業務に自然と浸透し、行動に反映されるようになるには、単発の教育だけでは十分です。継続的な実践と習慣づけが欠かせません。

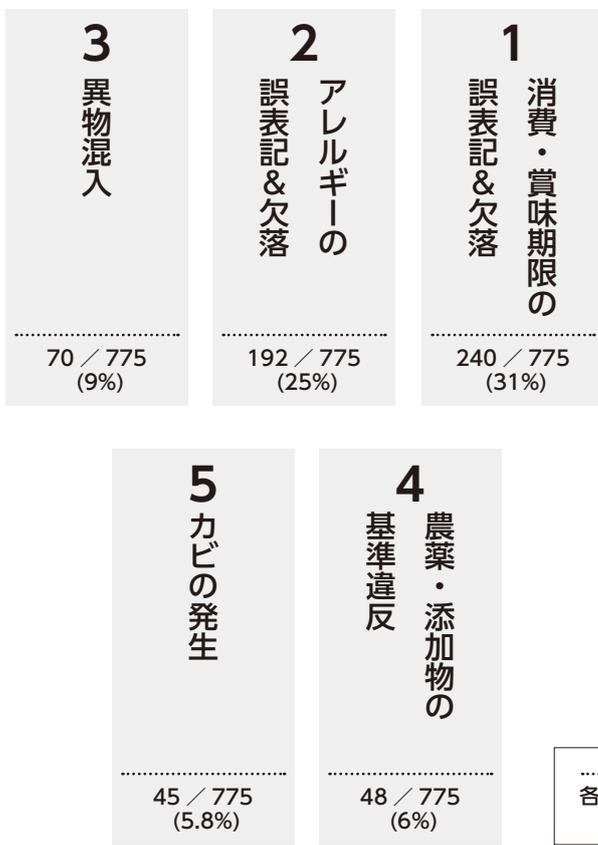
安全は1度きりの努力では守れません。設備やマニュアルに加えて、人の意識と行動が最も重要な鍵を握っています。私たち1人ひとりが食品に携わる者として、日々の行動を見直し、常に安全と品質を意識した行動を心がけ、食品安全文化を醸成していきましょう。

食品安全文化を醸成していきましょう。

食品安全文化とは？
「ルールを守る」から「安全をつくる」へ

品質保証室 すきま情報

令和6年度 食品リコール品
回収理由ランキング



各項目件数/全体件数 (%)

消費番号 食品リコール公開回収事案より

十勝農協連 湧洞牧場
北海道広尾郡大樹町

自然と技術が育む強い牛、 信頼の預託牧場を目指して



北海道広尾郡大樹町

この度ご紹介いたします湧洞牧場は十勝地区23農協を会員とする十勝農業協同組合連合会（以下、十勝農協連）が運営する預託牧場です。JR帯広駅より南東に約65km、太平洋に面した大樹町に700haという広大な敷地を有し、その土地を活用して乳用雌預託牛を、およそ1,650頭を飼養しています。主に十勝管内の酪農家の6ヶ月齢以降の育成牛を受け入れている他、全酪連などを通じて都府県からの酪農家の育成牛も受け入れています。

湧洞牧場は十勝農協連の前身である十勝畜産組合により昭和14年に農用馬の夏季預託、育成事業を実施したのが始まりです。時代とともに放牧畜が乳用牛へと移ったことから、放牧地・周辺道路等の整備を経て昭和48年より管内酪農家の通年預託事業を開始しました。規模拡大に伴う預託ニーズに合わせて平

成10年、平成16～17年、平成27年に段階的に牛舎を整備し、現在は10棟の牛舎で通年1,900頭の預託受けが可能となっています。この度は牧場長として統括にあたる十勝農業協同組合連合会の早田典生さんにお話を伺いました。

冷涼な気候・勾配を利用した 夏季完全放牧

湧洞牧場の位置する大樹町生花地区は酪農専業地帯であり、沿岸部に位置することから夏季でも海からの風を受け冷涼な気候が保たれています。同牧場の大きな特徴は、それらを利用した夏季の完全放牧です。放牧地は459haにも及び、他にグラスサイレージ用の採草地230haを有しています。訪問した5月上旬は舎飼い期でしたが、新播草地を中心に牧草の状態を確認しながら下旬より順次放牧を開始することでした。放



▲ 早田場長（一番右）と湧洞牧場の皆さん、本会鈴木職員（右より2人目後方）



▲ 舎飼風景 自家産チモシーサイレージを中心としたTMR飼料を給与



▲ 傾斜地の放牧地 奥に太平洋が見える

器の商品化を受けて、遠方・丘陵放牧地を中心に試験的に導入するということですが、大きな省力化を期待するとともに、日本初導入となる当システムについて、同じような大規模放牧地や通信網が脆弱な地域への普及につながるよう精度の向上に貢献したいと考えています。

労働環境を重視し職員の定着を実現している湧洞牧場ですが、一時期は短期間での職員の離職が相次ぎ厳しい時期もあったとのこと。原因のひとつであった労働時間・日数の削

牧地は離農跡地等の借地が半数を占めるため、地区を超えて大小の放牧地が点在しています。太平洋を一望できる急傾斜地の大牧区には主に育成・妊娠牛を放牧し、ひと夏をかけて足腰が強く粗飼料を食い込める牛を作ります。一方牛舎に近い平坦な放牧地には授精前の牛を管理し、発情の見逃しや事故の予防に努めています。どの牧区においても1頭に十分な牧草が当たるようにステージにより牛を振り分けているということでした。

期待される広域放牧地での省力化

湧洞牧場が誇る広大な敷地・夏季完全放牧にあたり、場長を含めて14名の牧場職員が多い時には1、900頭もの牛を安全に管理しています。しかし、前述のとおり放牧地が点在する中、放牧地間の移動、各牧区での頭数・状態確認にかかる時間の短縮は課題となっていました。遠方の放牧地には片道25分もの時間

がかかり、事故等による牛の輸送は職員の時間外労働にもつながります。預託事業の継続・発展に対しこの課題解決は不可欠と模索した結果、令和2年以降に補助事業を活用し、無線基地局の設置と発信装置機器の装着により位置、活動量、脱柵や事故の通知を遠隔で受け取る仕組みを構築、検証しました。厳しい酪農情勢下で投資を伴う事業への不安はありましたが、およそ5年間の実証実験、検証の末、コストも含めた整備計画

職員が定着する職場作り

少人数体制による広域・多頭管理にあたり、情報共有・コミュニケーションは不可欠です。朝晩のミーティングを日課とし、時間内に終業できるように全員で協力して牧場作業に当たっています。未経験の職員の採用もありますが、OJTによりマルチスキルを習得することで職員間の平等を心掛けています。

労働環境を重視し職員の定着を実現している湧洞牧場ですが、一時期は短期間での職員の離職が相次ぎ厳しい時期もあったとのこと。原因のひとつであった労働時間・日数の削



▲ 肥料散布の様子 急傾斜での作業は一苦勞

減を目標として、職員による省力可能作業の洗い出し、放牧時の効率的な牛の振り分けなど作業時短のための工夫を実施してきました。直近で一番功を奏したのは他農場を参考に牛の捕獲枠を設置したことで、モクシがけが不要となるため毎日の労働時間が1・5時間も短縮され、さらに作業事故も減少したそうです。小さな工夫ではありますが、多くの牛を管理する湧洞牧場にとって捕獲作業というボトルネックを洗い出し対処したことで大きな成果につながりました。今後も職員一丸となって、やりがいのある職場作りを目指していきたいと考えています。



▲職員による手作りの捕獲枠、労働時間短縮に大きく役立った

より良い牛を作るために



▲捕獲枠を利用した月例体測の様子

省力化・労働環境整備により職員の定着化が図られ、牛の飼養管理にもさらに力を入れていきます。利用者からのフィードバックを受け、昨年より発育調査を開始しました。入牧後2か月間の舎飼い期の飼料メニューを見直し、本会技術顧問による改善提案を実践したところ以前より牛の状態が良くなってきました。このこと。毎月実施している体測からもその効果が確認できています。飼料・管理の改善により長期未授精牛が減少、繁殖成績も向上してきてい

ます。また、このような取り組みと結果の検証は職員がより良い飼養管理について学ぶ機会にもなっており、改善事項の習慣化と人材育成にもつながっているそうです。課題に対して真摯に取り組みできた結果、その成果が少しずつ噛み合い牧場全体に改善がみられることを早田場長はとても嬉しそうに語ってくださいました。預託牛の発育については引き続きデータをとりながら今後は放牧期の管理改善を図りたいと考えています。また、冬場のサイレージ不足については現在の課題としており、放牧地の一部牧草のロール化、デントコーンの作付けにより安定した粗飼料の確保と経費圧縮を図りたいということです。

「預託してくださる酪農家さんにとって湧洞牧場の放牧は「メリット」でありたい。放牧の管理は先ほどお話ししてきたように難しい一面もあり、また近年の猛暑から夏場の管理



▲今年導入する「CowMoni-GIS(株式会社土谷製作所)」のスマホ画面放牧牛の頭数、位置、活動量を監視できる

そのものについて見直していく必要があります。それでも、粗飼料を食える腹、急傾斜を歩く足腰、強い心肺機能を持つ牛を作り酪農家さんにお返しすることが私たちの使命だと思っています。」

早田場長のお話からは、牛を大切に育て、その先の酪農家さんに恩返ししたいという思いが端々で伺えました。放牧を間近に控えた大変お忙しい中、快く取材をお引き受けいただいた早田場長をはじめ湧洞牧場の皆様に感謝申し上げます。

全酪連預託事業に関するご用命は最寄りの全酪連支所まで、ぜひお問合せください。

東京
支所発

「第14回青木農業祭2025」開催 ～農業をもっと身近に！～

4月19日(土)、栃木県那須塩原市青木地区において「第14回青木農業祭2025」が開催されました。

開会式では青木農業祭実行委員長の菊地英嗣さん（地元青木で酪農業を営む）が「生乳生産量だけではなく、青木農業祭や他イベントを通して那須塩原市が持つ力を県内外へ発信したい」と宣言されました。

今回の青木農業祭では前回第13回青木農業祭を超える多くの方が来場されました。酪農関連企業・団体、協賛企業がそれぞれ50を超えるこれまで最も多い出展が

あった他、牛乳早飲み大会やトラクターとの綱引きなど様々なイベントがあり大いに盛り上がっていました。

また、「第47回青木ホルタイン共進会」も同時に開催されました。多くの素晴らしい出品牛が出場された中、未經産牛の部は小針勤さん、経産牛の部では和泉正行さんがそれぞれ名誉賞を受賞されました。

この青木農業祭は来年も4月に開催が予定されています。ぜひご来場いただき、青木農業祭を通して農業全般を身近に感じてください。（H.D）



▲ 菊地英嗣さんによる挨拶



▲ トラクターとの綱引き



▲ 第47回青木ホルタイン共進会の様子



▲ トラクターバスを楽しむお客様達

名古屋
支所発東海ブロック酪政連協議会
「第24回通常総会」開催

令和7年5月15日(木)全酪連名古屋支所大会議室（愛知県名古屋市）において【東海ブロック酪政連協議会 第24回通常総会】が開催されました。

委員長の清水清人氏（日本酪農政治連盟岐阜県支部、岐阜県酪農農業協同組合連合会 代表理事会長）を議長として通常総会が進行され、すべての議案は可決され、無事終了しました。

通常総会に続き、農林水産省畜産局牛乳乳製品課生乳販課長補佐 平田裕祐氏を講師として「酪農をめ

ぐる情勢」を演目に全体研修会が開催されました。今回の研修会では、フリートークに多くの時間を取り、現在の補助事業に関する内容についての要望や、各県・各地域の状況等を平田課長補佐に話をし、今後の事業がさらに使いやすい事業になるよう意見交換を行い、充実した研修会となりました。

これらの活動を通じ、東海ブロック酪政連協議会は、日本酪農政治連盟と連携を強め、酪農家の経営安定・改善を求めて参ります。（S.M）



▲ 来賓挨拶
（日本酪政連 坂本幹事長）



▲ 開会挨拶(清水委員長)



▲ 総会風景

名古屋
支所発

「第4回田原牛枝肉共励会」開催

5月16日(金)に愛知県豊橋市のJAあいち経済連東三河食肉市場において、第4回田原牛枝肉共励会が開催されました。

この共励会はJA愛知みなみ田原牛肥育倶楽部より、「肥育技術向上を目的とした全酪連名古屋支所主催の枝肉共励会を開催してほしい」との要請を受け、今年で4回目となります。

当日は、市場で肥育倶楽部会員の枝肉を見なが

ら、それぞれの枝肉についての感想を確認しました。

その後、JAあいち経済連東三河食肉市場担当者から情勢報告及び、審査講評と成績優秀者の発表がありました。

表彰式終了後は会員の家族も集まって昼食会が行われ、情報交換や今後のイベントの計画など大いに盛り上がり終了しました。

なお、成績優秀者は次の通りです。(I.T)

●最優秀賞 河合洋典

交雑雌 B5 (ロース芯面積 68cm、BMS9、BCS4)

枝肉重量 570.0kg 百合美

●優秀賞 (株)伊藤牧場

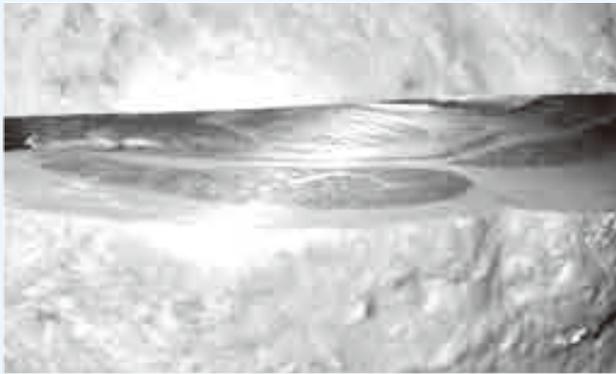
交雑去勢 B5 (ロース芯面積 78cm、BMS8、BCS4)

枝肉重量 763.5kg 福之姫

●優良賞 (株)白井牧場

交雑去勢 B5 (ロース芯面積 71cm、BMS8、BCS3)

枝肉重量 645.5kg 美津金幸



最優秀賞 ▲▶



▲ 左から白井さん、河合さん、伊藤さん

福岡
支所発

「令和7年度第1回各県会長・委員長、事務局合同会議」を開催(九州酪農政治連盟協議会)

5月16日(金)、福岡支所が事務局を務める九州酪農政治連盟協議会(宮本貞治郎会長 長崎県)が福岡市にて令和7年度第1回各県会長・委員長、事務局合同会議を開催しました。

会議では、研修として九州生乳販売酪農業協同組合連合会の稗島代表理事常務より、生乳需給や自主流通生乳の動向、生乳需給安定クロスコンプライアンスの導入などの報告を頂き、おおいに今後の要請活動の参考となりました。

また、日本酪農政治連盟の坂本幹事長に臨席を頂

き、令和8年度酪農予算、関連対策について意見交換を行い、「令和8年度酪農政策・予算確保に関する要請書(案)」を承認しました。加えて、九州酪農政治連盟協議会より、昨年11月に九州で発生した国内初のランピースキン病や韓国やカンボジアで発生している口蹄疫などの家畜伝染病の脅威を踏まえ、防疫体制の強化と発生時に早期対応できる体制支援を要望し、日本酪農政治連盟の特別要請書として国政に要請していくことを確認しました。(T.S)



▲ 生乳需給・取引に係る研修(九州生乳販売連 稗島常務)



▲ 要請書案を説明する坂本幹事長(日本酪政連)

栄えある 春の叙勲・褒章

叙勲



旭日双光章

清末 健一 氏

現 大分県酪農業協同組合 理事
前 大分県酪農業協同組合 代表理事組合長

旭日单光章

川名 正幸 氏

(有)川名デーリィ 代表取締役

褒章



黄綬褒章

中島 構治 氏

(有)ナカシマファーム 取締役

政府は4月29日(火)、春の叙勲・褒章受章者を発表しました。全酪連関係及び酪農関係からは、次の方が受章の名誉に輝きました。心からお祝い申し上げますとともに、益々のご活躍をお祈りいたします。

水際対策で家畜伝染病予防を！

福岡空港にて「動物検疫広報キャンペーン」を 関係団体合同で実施



▲ 左から2番目：農林水産省動物検疫所門司支所 林支所長
 左から3番目：福岡県農林水産部畜産課 能美課長
 左から4番目：ふくおか県酪農業協同組合 中島組合長
 右から5番目：全酪連福岡支所 坂本支所長
 ※各団体の代表者のみ記載



韓国で3月に1年10か月ぶりに口蹄疫が発生し、日本へ侵入するリスクが極めて高い状況が続いていることを受け、農林水産省動物検疫所門司支所・福岡県農林水産部畜産課・ふくおか県酪農業協同組合・全酪連福岡支所が合同で、動物検疫広報キャンペーンを実施しました。また、キャンペーン実施後には、動物検疫所が行っている水際対策の現地視察と意見交換を行い、国・県・生産者団体が協調・連携して家畜伝染病予防に努めていくことを確認しました。

ふくおか県酪協からは、ランピー
 スキン病の撲滅にご尽力されてい
 る中島清代表理事組合長が駆け付
 け、自ら入国者への積極的な声掛
 けや、その後の意見交換の場でも
 熱心に質問やふくおか県酪協の取
 り組みを説明して
 ました。

農林水産省動物検
 疫所門司支所・福岡
 県農林水産部畜産
 課・ふくおか県酪農
 業協同組合の皆さま
 に改めて心より感謝
 申し上げます。

(B・Y)

「動物検疫広報キャンペーン」 実施内容

1. 目的

家畜の悪性伝染病である口蹄疫やアフリカ豚熱が東アジア諸国でまん延しており、日本へ侵入するリスクが高まっている。ゴールデンウィーク期間中は、日本から海外への渡航や海外からの国内イベントへの参加目的での入国など人の動きが活発になることから、入国者等に対し注意喚起を行う。

2. 日時・場所

日時：令和7年4月25日(金)10:00～

場所：福岡空港国際線

旅客ターミナル1階 国際線到着口

3. 内容

● 広報物の配布・声掛けによる肉製品などの日本への持込禁止や家畜がいる施設に立ち寄りしないことについての注意喚起

● 動物検疫所キャラクター「クンくん」疫探知犬キャラクター「クンくん」とふくおか県酪農業協同組合のホルスタインキャラクター「スーパーカウ」による広報活動の実施



▲ 広報キャンペーンで入国者に声掛け・注意喚起を行う様子



▲ 検疫・入国審査前の通路に設置された靴底消毒マット(アンテックビルコンSを染み込ませたマットの上を全入国者が必ず通過)



◀ 動物検疫所キャラクター「クンくん」とふくおか県酪協キャラクター「スーパーカウ」のコラボ!



▲ 動物検疫所の各種取り組み説明・意見交換

農林水産省 動物検疫所



● ホームページ

➔ <https://www.maff.go.jp/aqs/>





赤澤担当相



日米関税交渉 与党が農業への影響を懸念

赤澤亮正経済再生担当相は5月7日、自民党が党本部で開いた会合で、このほど米国



で行われた2回目となる日米関税交渉の閣僚間協議について報告。米国に対し、一連の関税措置の見直しを強く申し入れたと説明した。一方、議員からは国内農業への影響を懸念する声をはじめ、しっかりとした国内対策を講じるべきという意見が出た。

政府は米国産のコメと大豆、トウモロコシの輸入における拡大余地を検討しているが、トウモロコシと大豆に比べ、コメは輸入拡大による国内農業への影響度が大きく異なる点を懸念する声もあがった。(5月10日号)

北海道用途別乳価

飲用・はつ酵向など4円値上げ
加工向合わせプール5円超上昇

令和7年度の北海道における用途別原料乳価格をめぐりホクレンは4月15日、飲用等向けとはつ酵乳向け、その他向け(乳製品用途以外)の3用途について、それぞれ「生乳1kg当たり4円値上げ」で大手乳業社等と合意したと発表。8月1日取引分より適用する。

今回の合意によるプール乳価上昇分は54銭ほど。これと既に6月1日取引分より全用途kg3円値上げ(バターと生クリームは7円上乘せ)が決定している乳製品向け乳価による上昇分を合わせると、プール乳価は前年度と比べ5円超上昇する見込み。(4月20日号)

新たな酪肉近

5年後も増産掲げる北海道
都府県は基盤維持目指す

今後の畜産・酪農政策の指針となる新たな酪肉近(酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針)が4月11日、正式に策定された。5年後の令和12年度の生乳生産目標数量を現状(＝令和5年度実績、

以下同)並みの732万tと設定。地域別目標として、北海道はこれまでの右肩上がりの傾向を踏まえて増産を掲げた一方、都府県は生産基盤維持を目指すとした。(4月20日号)

令和6年度販売実績

全国の乳量わずかに前年上回る
都府県減も北海道は一転プラスに

中央酪農会議は4月15日、令和6年度の用途別販売実績を取りまとめた。総受託乳量は682万8336tで前年度比0.2%増。令和4年度～5年度は北海道と都府県ともに大きく落ち込んでいた。都府県は引き続き減少したが、北海道が一転してプラスに転じた結果、全国ベースで微増となった。

新型コロナウイルス禍前に関係者が一体で進めてきた生産基盤強化の取り組みにより、令和元年度～3年度は増産を達成した。しかし、急激な円安や新型コロナウイルスによるウクライナ侵攻の影響によるコスト上昇等を背景に、離農

が急速に進行。需給緩和解消のため

の生産抑制の取り組みもあり、令和4年度～5年度の乳量は大きく落ち込んだ。令和6年度は微増だったが、離農は依然深刻な状況で、今後の生産基盤弱体化が懸念される。
(5月1日号)

新酪肉近とともに見直しを

行った家畜改良増殖目標では、10年後の令和17年度における乳用雌牛の能力目標のうち、乳量については現在の1頭当たり8809kgから、9500～1万kgに設定。個
(5月10日号)

家畜改良増殖目標
1頭当たり乳量9500～1万kgへ
長命連産・泌乳持続性を重視

体乳量のさらなる向上を目指す。また、長命連産性や泌乳持続性といった能力を重視する方向で改良を進める。乳用牛の目標頭数は127万頭（現在133万5千頭）とした。

全酪新報

- 人が牛乳を必要とし、牛肉を必要とし、緑を必要とする限り、酪農は誇り高い永久の仕事です。
- 明日へ向かって前進する酪農界の動きを全酪新報は正確に報道します。時に怒りの声を、時に喜びの声を…幅広くお伝えします。
- ご家族でご愛読いただける酪農専門紙です。
- 毎月1日、10日、20日発行、年間購読料は6,600円（税込・送料込）です。
- お支払（請求書到着後）は、郵便振替、銀行振込、クレジットカード決済がご利用いただけます。
- 見本紙ご希望の方はお申し出下さい。無料です。（見本紙にバックナンバーは含まれません）

全酪新報/
購読お申込フォーム



一般社団法人
全国酪農協会

電話 03 (3370) 7213
www.rakunou.org



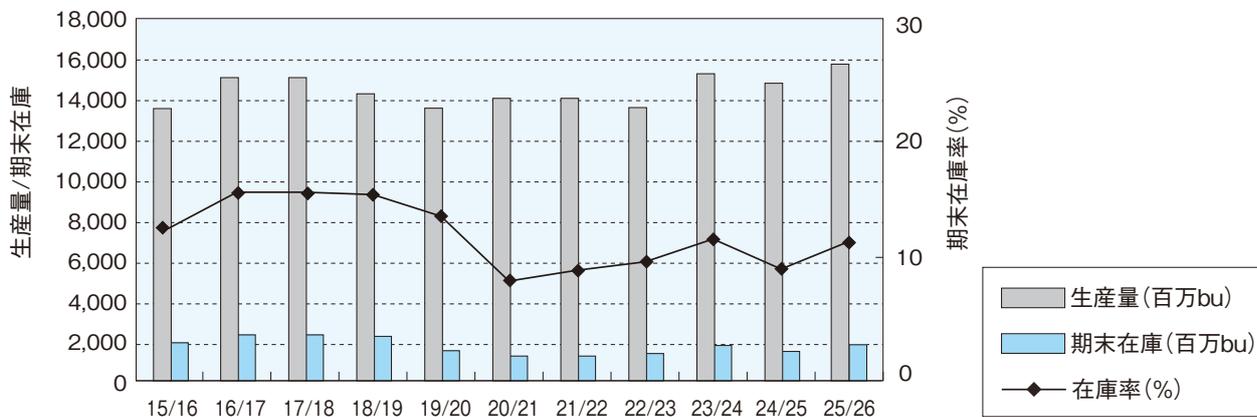
令和6年度販売乳量

指定団体	4-3月累計 t	前年同期比%
北海道	3,955,974	101.3
青森	67,378	98.5
岩手	174,912	99.5
宮城	90,268	93.9
秋田	19,537	97.2
山形	45,782	102.6
福島	53,784	98.3
東北生乳販連	451,662	98.2
茨城	179,723	100.3
栃木	333,078	101.8
群馬	158,147	97.5
埼玉	35,871	94.2
千葉	184,455	100.2
東京	7,560	98.2
神奈川	22,091	95.2
山梨	12,409	98.9
静岡	81,648	98.9
関東生乳販連	1,014,982	99.8
新潟	32,019	95.1
富山	11,557	99.8
石川	15,386	96.9
福井	4,949	100.7
北陸酪連	63,911	96.8
長野	77,465	97.0
岐阜	29,153	100.5
愛知	130,015	96.1
三重	48,595	100.2
東海酪連	285,229	97.5
滋賀	16,099	98.4
京都	16,635	96.8
大阪	7,570	94.3
兵庫	70,827	98.8
奈良	21,389	103.4
和歌山	3,877	92.1
近畿生乳販連	136,397	98.7
鳥取	60,808	102.9
島根	74,462	102.8
岡山	91,376	99.0
広島	44,297	93.2
山口	14,534	107.9
中国生乳販連	285,476	100.2
徳島	21,100	90.6
香川	38,265	98.4
愛媛	22,726	98.7
高知	17,260	99.9
四国生乳販連	99,350	96.9
福岡	57,651	96.9
佐賀	11,249	97.7
長崎	29,911	97.8
熊本	245,733	98.6
大分	64,514	96.8
宮崎	66,725	101.3
鹿児島	59,571	93.5
九州生乳販連	535,354	97.9
都府県	2,872,361	98.8
合計	6,828,336	100.2

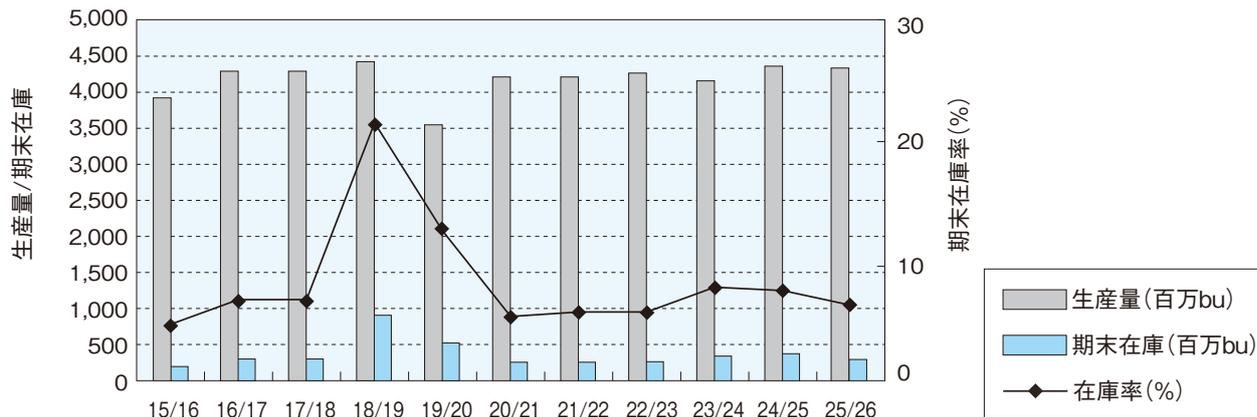


		24/25年産	25/26年産
5月12日発表 米国農務省 トウモロコシ 需給予想	作付面積 (百万エーカー)	90.6	95.3
	単 収 (ブッシェル/エーカー)	179.3	181.0
	生 産 量 (ブッシェル)	148億6,700万	158億2,000万
	需 要 量 (ブッシェル)	152億4,000万	154億6,000万
	期末在庫 (ブッシェル)	14億1,500万	18億
	在 庫 率	9.28%	11.64%
	トウモロコシ 相場動向	今回の需給報告では旧穀は期末在庫の減少、新穀は飼料・輸出需要の引き上げから期末在庫が想定以上に減少する結果となった。しかし、ブラジル産の生産量が増加する見込となったことから、シカゴ定期はそれほど変動していない。引き続き、今後も米国の天候等に注視する必要がある。	
大豆粕 相場動向	米中貿易交渉が緩和に向かったことでシカゴ相場は反発した。再び中国への米国輸出期待感も高まっているものの、米国・南米共に豊作予想なことから上値が重い展開が予想される。		
糟糠類	【一般フスマ】 各製粉メーカーの稼働は概ね良好である一方で、飼料需要の減退から在庫が重い状況となっている。		
	【グルテンフィード】 国産の足元の発生は昨年並みであるが、昨年対比需要が強いため、国産在庫が例年対比タイトな状況。輸入（中国）については米中貿易摩擦による中国国内需要の増加により価格が上昇している。		
海上運賃	海上運賃については特段目新しい材料も無い為、横ばいで推移している。		

米国産トウモロコシ生産量と期末在庫の推移



米国産大豆生産量と期末在庫の推移





北米コンテナ船情勢	<p>北米西海岸を中心とする航路では、本船スケジュールに乱れが生じており、主要な乗継航路を含め、混雑が続いています。特に、2月の中国旧正月による減便で、3月中旬から下旬にかけて米国西岸に到着する本船が少なく、空コンテナの不足が発生したことで、船腹予約にも影響を与えました。4月以降は、減便時の遅れを取り戻すべく、米国向けに多くの貨物が出荷されたことで、一時的に入船が集中しました。その結果、本船スケジュールの度重なる変更により、大型連休後の日本国内においても入船が集中し、荷役作業の遅れが生じています。北米航路ではトランプ大統領による関税措置や、各国からの報復関税の影響により貨物量の減少が続いており、今後、ブランクセーリング（寄港予定港の抜港）が増えることが予想されています。加えて、一部の船会社では関税問題とは別に、日本の港湾混雑を緩和する目的で複数週にわたり日本港の抜港を検討しています。こうした配船の減少が進んだ場合、コロナ禍と同様に船腹予約の確保が困難になり、1隻あたりに積載されるコンテナ数が増加し、一度に大量の貨物が入港することで、日本市場の需給と相場が不安定になる可能性もあります。</p>																																																																	
アルファルファ	<p>【ワシントン州】 主産地であるコロンビアベースンでは、冷涼な気候が続いていましたが生育は順調で、南部の早い圃場で25年産1番刈の収穫作業が開始されています。24年産の価格は生産農家にとって魅力的ではなく、他作物に転作した圃場もあったため、25年産の作付面積は5～10%減少する見通しです。米国内酪農家は関税の影響で輸出市場が低迷し、相場が下落することを期待しているため、買付を控えており、動向を注視しています。今後の作柄次第で動きが出てくると予想されていますが、先行き不透明な状況が続いています。</p> <div data-bbox="1114 645 1445 846" data-label="Image"></div> <p>▲ 25年産アルファルファ1番刈圃場の様子(4月下旬撮影)</p>																																																																	
	<p>【カリフォルニア州】 カリフォルニア州南部のインペリアルバレーでは、1番刈の収穫が終了し、2番刈の収穫作業が行われています。昨年のDIP（休耕地政策）の影響で、枯れきった茎が混入した圃場もありましたが、高成分な品質が収穫されており、主に中東や米国内酪農家へ出荷される見込みです。今後、産地での気温も上昇していくことから、成分値が低く、色褪せたサマーヘイが収穫される見通しです。灌漑局の発表によると、4月15日時点でのアルファルファの作付面積は146,054エーカーとなっており、前年同期の145,273エーカーからやや増加しています。</p>																																																																	
米国産チモシー	<p>主産地であるワシントン州コロンビアベースンおよびエレンズバーグでは、昨年同様に、冷涼な気候が続いたものの、順調に生育しており、25年産1番刈の収穫はコロンビアベースン南部で5月下旬より開始される見込みです。他作物の相場が低迷していることもあり、作付面積は10～15%増加すると予想されています。</p>																																																																	
スーダングラス	<p>カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、5月後半から25年産1番刈の収穫作業が開始される見込みです。灌漑局によると、5月1日時点でのスーダングラスの作付面積は19,246エーカーで、前年同期の10,625エーカーから増加していますが、春の温暖な気候により生育が早まり、作付けも早く開始されたことが要因であり、5月が作付面積の最盛期と予想されています。</p> <div data-bbox="767 1317 1445 1615" data-label="Figure"> <p>◀ インペリアルバレー スーダングラス作付面積推移 (単位:エーカー)</p> <table border="1"> <caption>インペリアルバレー スーダングラス作付面積推移 (単位:エーカー)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>2019年</th> <th>2020年</th> <th>2021年</th> <th>過去30年平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1月</td> <td>10,000</td> <td>10,000</td> <td>10,000</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>12,000</td> <td>12,000</td> <td>12,000</td> <td>12,000</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>15,000</td> <td>15,000</td> <td>15,000</td> <td>15,000</td> </tr> <tr> <td>4月</td> <td>18,000</td> <td>18,000</td> <td>18,000</td> <td>18,000</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>19,246</td> <td>19,246</td> <td>19,246</td> <td>19,246</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>18,000</td> <td>18,000</td> <td>18,000</td> <td>18,000</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>15,000</td> <td>15,000</td> <td>15,000</td> <td>15,000</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>12,000</td> <td>12,000</td> <td>12,000</td> <td>12,000</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>10,000</td> <td>10,000</td> <td>10,000</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>10,000</td> <td>10,000</td> <td>10,000</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>10,000</td> <td>10,000</td> <td>10,000</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>10,000</td> <td>10,000</td> <td>10,000</td> <td>10,000</td> </tr> </tbody> </table> </div>	年	2019年	2020年	2021年	過去30年平均	1月	10,000	10,000	10,000	10,000	2月	12,000	12,000	12,000	12,000	3月	15,000	15,000	15,000	15,000	4月	18,000	18,000	18,000	18,000	5月	19,246	19,246	19,246	19,246	6月	18,000	18,000	18,000	18,000	7月	15,000	15,000	15,000	15,000	8月	12,000	12,000	12,000	12,000	9月	10,000	10,000	10,000	10,000	10月	10,000	10,000	10,000	10,000	11月	10,000	10,000	10,000	10,000	12月	10,000	10,000	10,000	10,000
年	2019年	2020年	2021年	過去30年平均																																																														
1月	10,000	10,000	10,000	10,000																																																														
2月	12,000	12,000	12,000	12,000																																																														
3月	15,000	15,000	15,000	15,000																																																														
4月	18,000	18,000	18,000	18,000																																																														
5月	19,246	19,246	19,246	19,246																																																														
6月	18,000	18,000	18,000	18,000																																																														
7月	15,000	15,000	15,000	15,000																																																														
8月	12,000	12,000	12,000	12,000																																																														
9月	10,000	10,000	10,000	10,000																																																														
10月	10,000	10,000	10,000	10,000																																																														
11月	10,000	10,000	10,000	10,000																																																														
12月	10,000	10,000	10,000	10,000																																																														
クレイングラス	<p>クレインは全酪連の登録商標です。 主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、温暖な気候により生育は順調に進んでおり、現在、1番刈の収穫が開始されています。多くの生産農家は3番刈の生産を夏前まで行い、その後DIPに参加する見通しです。灌漑局の発表によると、2025年4月15日時点でのクレイングラスの作付面積は22,919エーカーとなっており、前年同期の21,451エーカーから増加しています。</p>																																																																	
豪州産 オーツハイ・ウィートストロー	<p>西豪州では生産農家との契約が完了し、4月の十分な降雨を受けて多くの圃場で播種を開始しており、5月中には完了する見込みです。25年産の作付面積は昨年比で10%増加しており、生産量の増加が期待されています。天候が引き続き順調であれば豊作の可能性もあります。南豪州では契約進捗が約75%で、一部の生産農家が乾燥した気候の影響から契約を保留しており、現時点で十分な降雨は確認されていません。5月に平年並みの降雨があれば作付面積も例年並みになると見込まれますが、現時点では昨年並みの作付面積になると予想されています。東豪州では契約が概ね完了しており、作付面積は昨年と同程度となる見通しです。4月下旬の2週間にわたり降雨に恵まれたことで土壌条件が整い、多くの生産農家が5月上旬から播種を開始しており、全体的に順調に進んでいます。</p>																																																																	

※粗飼料情勢の全文は弊社ホームページに掲載しています。



全酪連

全国各地の
牛乳・乳製品が
代々木に集合！

第8回

らくのう

マルシェ

7.5 ± 10:00 ~ 16:00



場所 酪農会館 1階エントランス

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-37-2

お問い合わせ 0120-370-566



価格状況 ▲……強含み ➡……やや強含み ➡……横這い ➡……やや弱含み ▼……弱含み

札幌支所 TEL 011-241-0765
 釧路事務所 TEL 0154-52-1232
 根室駐在員事務所 TEL 01537-6-1877
 帯広事務所 TEL 0155-37-6051
 道北事務所 TEL 01654-2-2368

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	28~38	➡	札幌管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で101.2%、累計で101.8%、苫小牧管内月計で99.9%、累計で99.3%の実績となっております。6月の初妊牛動向といたしまして、8月下旬~9月下旬分娩が中心となります。道内需要が高く、相場は堅調に推移している状況を踏まえ、6月の動向としてもやや強含みで推移すると見込まれます。定期的に庭先購買を実施している地域でもありますので、F1腹、雌雄選別腹共に確保する事はできます。経産牛についても初妊牛同様、道内需要がありますので横這いで推移すると見込まれます。優良牛や高能力牛の多い地域でもありますので、ご希望がございましたらお問合せください。
	初妊牛	60~70	➡	
	経産牛	40~50	➡	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	30~40	➡	根釧管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で103.0%、累計で103.3%、中標津管内月計で101.3%、累計で101.5%の実績となっております。6月の初妊牛動向といたしまして、8月下旬~9月中旬分娩が中心となります。例年は需要の落ち込む夏分娩中心ではあるものの、乳価の引き上げや、乳牛資源が全体的に減少していることから、相場は底堅く、横這いで推移すると見込まれます。腹別において、依然としてF1腹の引き合いが強い傾向にあります。育成牛については、資源の少ない春から夏分娩が期待できる生まれ月の牛については引き合いが強く、横ばいで推移すると見込まれます。
	初妊牛	55~65	➡	
	経産牛	38~48	➡	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	32~42	➡	帯広管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で103.0%、累計で103.5%の実績となっております。6月の初妊牛動向といたしまして、8月下旬~9月中旬分娩が中心となります。例年需要が落ち込む夏分娩ですが、道内需要が高いことから、やや強含みで推移するもの見込まれます。腹別の資源状況につきまして、F1腹については出回りも多く、十分に確保できる状況ですが、雌雄選別腹については出回りが減少しております。経産牛について、産次数が少ない経産牛は、即戦力としても道内需要で引き合いが強く、相場は横ばいで推移すると見込まれます。育成牛について、資源の少なさから、夏分娩となる生まれ月の牛でも引き合いがあると見込まれます。
	初妊牛	60~70	➡	
	経産牛	45~55	➡	
道北管内	育成牛(10-12月令)	30~40	➡	道北管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で98.9%、累計で98.7%、北見管内月計で101.7%、累計で101.9%の実績となっております。6月の初妊牛動向といたしまして、8月下旬~9月中旬分娩が中心となります。今年の予報によると、例年並みに暑くなるという予報も出ている事から、夏分娩のリスクにより引き合いは弱まるという見方もある一方で、乳価の値上げがあることから、リスクと生乳生産を天秤にかけた動きになると見込まれ、相場は横ばいで推移するものと予想されます。経産牛の引き合いについては、即戦力の需要が道内高まっていることから、横這いに推移すると見込まれます。
	初妊牛	55~65	➡	
	経産牛	38~48	➡	
道内総括	育成牛(10-12月令)	32~42	➡	道内の5月中旬までの生乳生産量前年比は101.7%、累計で102.0%の実績となっております。道内では、放牧も始まり、1番草の収穫時期となっております。6月の初妊牛動向は、夏分娩中心の取引となっております。例年需要が落ち込む夏分娩の初妊牛ですが、夏からの乳価改定による導入意欲回復も見込まれ、道内需要の高まりにより、相場は堅調に推移すると見込まれます。腹別の資源状況としましてはF1腹の出回りは潤沢にあり、雌雄選別腹は若干資源不足となってきます。経産牛に関しては、即戦力としての引き合いが継続しており価格は横ばいで推移するものと見込まれます。弊会としましては、引き続き道内資源状況を確認しながら、ご希望にあった搾乳用素牛を供給していきますので、導入計画がございましたらお早目のご注文をよろしくお願いいたします。
	初妊牛	58~68	➡	
	経産牛	40~50	➡	

今月の表紙

今月の表紙は「第14回酪農いきいきフォトコンテスト」に応募いただいた作品「お掃除するぞ〜っ！私も手伝うぞ〜っ！」(福島県 福田正幸氏 撮影)です。



編集後記

- 6月は「牛乳月間」です!!
- 全国酪農青年女性会議では全国各地で「父の日に牛乳を贈ろう!」キャンペーンを実施中です。安全・安心な国産牛乳の価値を伝え、牛乳・乳製品の定着化をアピールしていきましょう。
- 来月には、第52回全国酪農青年女性酪農発表大会が開催されます。各地からの発表者が決定いたしましたので、今月号にてご紹介しています。酪友の皆様が一堂に会するこの大会。多くの酪友の皆様のご参加をお待ちしております。
- 会報に関するご意見・ご要望等があれば、以下のアドレスにメールをいただければ幸いです。
shidoukikaku@zenrakuren.or.jp

令和7年6月10日発行(毎月1回10日発行)

全酪連会報 6月号 No.717

● 編集・発行人 飯島洋一
 ● 発行 全国酪農協同組合連合会
 〒151-0053 東京都渋谷区代々木一丁目37番2号 酪農会館
 TEL 03-5931-8003 <https://www.zenrakuren.or.jp/>

作品募集のお知らせ

第51回 らくのう こどもギャラリー

1 募集規定

- (1)酪農を中心とした題材の図画（大きさ、技法は自由）
- (2)自作で未発表のものに限ります。
- (3)作品には、**題名・住所・氏名・振り仮名・年齢・学校名・学年・保護者名を必ず記載してください。**また、酪農家の子弟については保護者の所属組合名を記載してください。
- (4)作品返却を希望される方は応募時に返却希望の旨を申し出てください。

2 応募資格

4歳から中学生までの酪農家の子弟、および酪農に関心のある一般のお子さん。

3 締切日

令和7年5月30日(金) (必着)
または、各地域会議締切日に準ずる。

4 提出先

下記「提出先一覧」中の最寄りの酪農青年女性会議事務局宛に提出してください。

5 審査結果の発表

「第52回全国酪農青年女性酪農発表大会」の発表要旨、および全酪連会報7月号に審査結果を掲載いたします。

6 褒賞

- ・特選 1点
- ・入選 4点
- ・秀作 若干
- ・ファミリー賞 若干
(牛とのふれあいなど、ほのぼのとした雰囲気を持つ作品に贈られます)
- ・あすなる賞 若干
(小学校入学以前の方の優秀作品に贈られます)

- ◎入賞者には記念品を贈呈いたします。
- ◎図画の優秀作品は、作者の顔写真・審査講評と共に「全酪連会報」の最終ページに掲載します。



第50回 特選
「元気な牛」
菊地遥空さん

第15回 酪農いきいき フォトコンテスト

全国酪農青年女性会議では、酪農家の生活や牛乳の生産現場をより鮮明に消費者に伝えていくことを目的に、「酪農いきいきフォトコンテスト」を実施します。

つきましては、下記のとおり作品を募集しますので、ふるってご応募いただけますようお願いいたします。

1 テーマ

- (1)「乳牛のいる風景」
 - (2)「酪農作業風景」
- ※いずれも、酪農家がいきいきと牛乳生産に励む様子や、安心安全な牛乳生産のため懸命に仕事に取り組む姿勢が感じられるようなもの。

2 募集規定

- (1)写真は可能な限りデータで提出してください。
- (2)自作で未発表のものに限ります。
- (3)作品には、**題名・氏名・振り仮名・住所・所属組合名を必ず記載してください。**
- (4)応募点数：お1人様1作品のみ

3 応募資格

酪農家



第14回 特選「おうちへ 帰ろう」
茂木幹司氏 撮影

4 締切日

令和7年6月30日(月) (必着)
または、各地域会議締切日に準ずる。

5 提出先

下記「提出先一覧」中の最寄りの酪農青年女性会議事務局宛に提出してください。または、全国酪農青年女性会議公式LINEでも応募可能

予定です。
詳細は決まり次第、全国酪農青年女性会議公式LINEで告知します。

酪農青年女性会議
公式LINE
@642bpcwk

6 審査方法

応募作品を「第52回全国酪農青年女性酪農発表大会」の会場内に掲載し、大会参加者の投票による審査を行います。
※応募多数の場合は事務局による予備審査を行います。

7 審査結果の発表

- (1)「第52回全国酪農青年女性酪農発表大会」にて発表します。
- (2)「全酪連会報」の表紙に使用します。(号数未定)

8 褒賞

- ・特選 1点
 - ・入選 若干
- ◎入賞者には賞品を贈呈いたします。
◎提出していただいた作品の返却はいたしません。
◎応募していただいた作品は、全酪連会報およびカレンダーへの掲載を含め、今後各地での牛乳消費拡大活動(「父の日に牛乳を贈ろう!」キャンペーン含む)等で使用することがありますのでご了承ください。

提出先一覧

- 北海道酪農青年女性会議
〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目1
酪農センター5階 全酪連札幌支所内
TEL 011-241-0765
- 東北酪農青年女性会議
〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町
2丁目10番28号 カメイ仙台台グリーンシティ8階
TEL 022-221-5381

- 関東甲信越酪農青年女性会議
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-37-2
酪農会館 全酪連東京支所内
TEL 03-5931-8011
- 中部酪農青年女性会議
〒460-0008 名古屋市中区栄1-16-6
名古屋三蔵ビル3階 全酪連名古屋支所内
TEL 052-209-5611

- 西日本酪農青年女性会議
〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-14-10
新大阪トヨタビル6階 全酪連大阪支所内
TEL 06-6305-4196
- 九州酪農青年女性会議
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-2-15
事務機ビル7階 全酪連福岡支所内
TEL 092-431-8111



in
岡山

第52回

全国酪農青年女性 酪農発表大会

令和7年
7/17 (木)
18 (金)

日程

7月17日 (木)

- 13:00~13:50 開会式
- 13:55~16:15 酪農経営発表
- 16:15~16:25 らくのうこどもギャラリー表彰式
- 16:40~18:15 酪農意見・体験発表
- 19:30~21:30 懇親会

7月18日 (金)

- 9:00~ 特別講演
- 10:20~11:40 審査講評・表彰式
- 11:40~11:50 閉会式

大会参加費

1名 **5,000円** (大会のみ) 1名 **15,000円** (大会・懇親会)
※宿泊につきましては、各地域会議事務局にお問い合わせください。

大会会場・アクセス

● 会場

「ホテルグランヴィア岡山」
〒700-8515
岡山市北区駅元町1-5
Tel 086-234-7000



● アクセス

- 鉄道の場合
JR岡山駅2階からホテル直結。
中央改札口から徒歩1分。
- 車の場合
山陽自動車道 岡山ICから約25分。
- 飛行機でお越しの場合
岡山桃太郎空港より車で約30分。



特別講演



ヨーグルトマニア (一社)ヨグネット 代表理事 **向井 智香 氏**

講演内容 土着の乳の保存手段として数千年の歴史を持つ発酵乳ですが、日本の食文化に本格的に取り入れられたのはここ数十年のこと。商品の付加価値として工業的に取り入れられた側面が強く、菌の働きによる健康面へのアプローチが市場を賑わせています。本講演ではヨーグルトが日本の食文化として成熟する上で重要な要素として取り扱われるべき「乳」と「クラフトマンシップ」に焦点を当て、消費者とともに日本の農の未来を作る食の在り方について考察します。

プロフィール SNSで3,100種類超のヨーグルトをレビューするヨーグルトマニア。全国の牧場・乳業メーカーを巡って独自に収集した情報をもとに、ヨーグルトにおける「乳」の魅力発信に力を注ぐ。
2022年「ヨーグルトの本」(エムティーエヌコーポレーション)著。
2023年 一般社団法人ヨグネット設立。

大会事務局

全国酪農青年女性会議

〒151-0053 東京都渋谷区代々木一丁目 37 番 2 号 酪農会館
全酪連 総務部 組織対策課 内 / TEL. 03-5931-8003

今月の

らくのう

こどもギャラリー 入賞作品紹介



牛乳ありがとう

あさひ保育園 5歳 (九州) 小川勇心

今月の入賞作品は…

あさひ保育園 5歳 (九州) 小川勇心さんの作品です。

「牛乳ありがとう」と題された勇心くんの作品は、画面いっぱいに描かれた牛のおっぱいと牛乳が魅力となっています。また牛乳そのものを描いた作品はとても珍しいです。子供ならではの大胆で思い切った描写は、絵を描くことの素直な喜びが伝わってきて好感が持てました。



※この作品は本会と全国酪農青年女性会議共催の「第50回らくのうこどもギャラリー」で全国255点の応募作品から入賞12点に選ばれたものです。

主催 全国酪農青年女性会議

① 全酪乳製品セットA

税込**3,856円** (本体3,570円)

内容：とろけるスライスチーズ126g／スライスチーズ126g／スモークチーズ120g／6Pチーズ108g／酪農家めるチーズ80g／酪農家バター（加塩）200g：各1個
アレルギー物質：乳



② 全酪乳製品セットB

税込**5,508円** (本体5,100円)

内容：とろけるスライスチーズ126g／スライスチーズ126g／スモークチーズ120g／6Pチーズ108g／全酪ゴーダ125g／酪農家めるチーズ80g／酪農家バター（加塩）200g／全酪パウダーチーズ70g：各1個
アレルギー物質：乳



③ 全酪 牛飼いのバター5個セット

税込**4,320円** (本体4,000円)

内容：牛飼いのバター（加塩）200g×5個
アレルギー物質：乳



ZENRAKU Summer Gift 2025

取扱期間

2025年6月16日～8月29日
※一部商品のぞく。

全酪連ギフトオンラインショップ
→ <https://zenrakuren.stores.jp/>





8 MOCHIMORE セット

税込**4,050円** (本体3,750円)

内容：おもちアイス8種80ml×各1個 (ティラミス/ホワイトチョコといちご/塩キャラメル/抹茶と黒蜜ときなこ/マンゴーとマンゴーソース/ゴルゴンゾーラとカラメルアップル/レーズンバター/ピスタチオといちご)
アレルゲン物質：乳/大豆/アーモンド/りんご



【販売者】中央製乳株式会社 (愛知県豊橋市)



9 九州そだちアイス・バターセット (ID-13)

税込**5,346円** (本体4,950円)

内容：九州そだちアイスクリーム110ml×各3個 (バニラ/チーズ&クッキー/クリーム&クッキー) / 阿蘇山麓塩バター4個
アレルゲン物質：乳/卵/小麦/大豆/やまいも



【販売者】株式会社 熊弘乳舎 (熊本県熊本市)



10 東毛酪農アイスセット

税込**4,751円** (本体4,399円)

内容：アイスクリーム110ml×8個 (牧場ミルク/ミルクチョコレート/宇治抹茶 各2個、はちみつバニラ/ミルクコーヒー 各1個)
アレルゲン物質：乳/卵



【製造者】東毛酪農協同組合 (群馬県太田市)



15 みるく畑

税込**4,499円** (本体4,166円)

内容：8個入り 110ml×2個 (ミルク) 95ml×各2個 (いちご/ブルーベリー&クリームチーズ/鳥取県産新甘梨シャーベット)
アレルゲン物質：乳/卵/小麦/大豆



【製造者】大山乳業農業協同組合 (鳥取県東伯郡)



16 奥中山高原アイスギフト (S)

税込**5,076円** (本体4,700円)

内容：アイスクリーム130ml×各2個 (バニラ/イチゴ/ブドウ/洋なし)
アレルゲン物質：乳/卵



【製造者】奥中山高原農協乳業株式会社 (岩手県二戸郡)

17 奥中山高原アイスギフト (I)

税込**6,372円** (本体5,900円)

内容：アイスクリーム130ml×各2個 (バニラ/イチゴ/ブドウ/洋なし/コーヒー/抹茶)
アレルゲン物質：乳/卵



【製造者】奥中山高原農協乳業株式会社 (岩手県二戸郡)



22 長崎カステラセット 2本入り

税込**3,888円** (本体3,600円)

内容：牛乳カステラ370g/長崎街道カステラ蜂蜜風味370g 各1本
アレルゲン物質：乳/卵/小麦



【製造者】南杉谷本舗 (長崎県諫早市)



23 長崎カステラ 3品詰め合わせセット

税込**3,808円** (本体3,526円)

内容：プレミアム・ショコラ190g/蜂蜜カステラ185g/いちごみるくカステラ185g 各1本
アレルゲン物質：乳/卵/小麦/大豆



【製造者】南杉谷本舗 (長崎県諫早市)



24 地卵はちみつぷりんギフト

税込**3,996円** (本体3,700円)

内容：地卵はちみつぷりん (90g×9個) / カラメルソース (5g×9個)
アレルゲン物質：乳/卵



【製造者】株式会社 株菊家 (大分県由布市)

取扱上のご注意

1. 配送地区に制限のある場合もありますので、ご確認ください。なお、離島につきましては原則として配達できませんので、予めご了承ください。
2. お申込後のご返品、お取り消し (お届け先様ご不在、ご移転ご転居、受け取り拒否等による) 扱いはいたしませんので予めご承知おきください。
3. お届け先様のご不在における取扱は、配送業者の取扱規定により対応します。
4. 掲載商品の価格には消費税及び送料が含まれております。
5. 詰合せ内容・商品デザイン及び配列については、お断りなく一部変更する場合があります。
6. 商品は十分にご用意しておりますが、在庫がなくなり次第終了とさせていただきますのでご了承ください。
7. **冷凍 冷蔵** マークの付いている商品はそれぞれ冷凍、冷蔵でのお届けになります。
8. **簡易 全** マークの付いている商品はそれぞれ簡易包装、全包装となります。また、表示のない商品には包装はありません。(簡易包装とは、包装紙を帯状に商品に巻きつけた包装形態のことです。)
9. **普 短冊** マークの付いている商品はそれぞれ普通サイズ、短冊サイズの熨斗となります。
10. **名入可** マークの付いている商品は熨斗の表書きにご指定の文字が入られます。商品によりスペースが異なり、全ての文字を入れられないこともございます。ご了承ください。
11. **お中元** マークの付いている商品は熨斗の表書きがお中元のみとなります。



**4 大山おいしいギフト
ミルク&のむヨーグルト**

税込**4,199円** (本体3,888円)

内容：特選大山おいしい牛乳 900ml×1本／大山おいしいカフェ・オ・レ 900ml×1本／鳥取大山のむヨーグルト 750ml×2本
アレルギー物質：乳

冷蔵 短保 年中

【製造者】大山乳業農業協同組合 (鳥取県東伯郡)



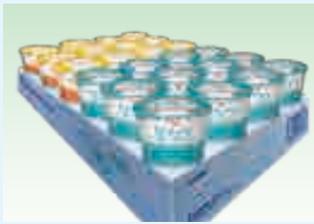
**5 蒜山贅沢ヨーグルト・
のむヨーグルトのセット**

税込**4,488円** (本体4,156円)

内容：贅沢ヨーグルト90g×8個／のむヨーグルト／のむヨーグルトマンゴー 各150ml×3本
アレルギー物質：乳

冷蔵 全 短保 年中

【製造者】蒜山酪農農業協同組合 (岡山県真庭市)



**6 ひるがのヨーグルト・
ミルクプリン**

税込**4,500円** (本体4,167円)

内容：80g×24個入り(ひるがのヨーグルト／ミルクプリン 各12個)
アレルギー物質：乳／卵

冷蔵 短保

【製造者】美濃酪農農業協同組合連合会 (岐阜県美濃市)



**7 日光霧降高原
大笹牧場アイスセット**

税込**6,626円** (本体6,135円)

内容：ブラウンスイスアイスクリーム (パニラ／ストロベリー／チョコ) 100ml×各4個
アレルギー物質：乳／卵

冷凍 短保

【製造者】日光霧降高原大笹牧場株式会社 (栃木県日光市)



11 全酪牛 焼肉セット

税込**6,750円** (本体6,250円)

内容：産直牛(国産牛) 肩ロース250g／モモ250g
アレルギー物質：牛肉

冷凍 短保 年中

【製造者】生活協同組合コープかごしま (鹿児島県鹿児島市)



12 OC-40

税込**4,100円** (本体3,796円)

内容：北海道認証ベーコンスライス80g／北海道ポークフランク220g／あらびきフランク200g／あらびきウィンナー110g／ハーフウィンナー135g／行者にんにくウィンナー120g 各1個
アレルギー物質：乳／豚肉

冷蔵 簡易 短保 年中

【製造者】株式会社クリーンミート (北海道紋別郡)



13 OC-50

税込**5,400円** (本体5,000円)

内容：北海道認証ベーコンブロック300g／北海道認証ペッパーポーク320g／あらびきフランク200g／パジリコフランク240g／あらびきウィンナー110g／ガーリックウィンナー110g 各1個
アレルギー物質：豚肉

冷蔵 簡易 短保 年中

【製造者】株式会社クリーンミート (北海道紋別郡)



**14 十勝若牛
ギフトセット**

税込**7,560円** (本体7,000円)

内容：十勝若牛ロースステーキ 180g×2枚／十勝若牛ローストビーフ 約300g×1個／十勝若牛ハンバーグ 100g×4個
アレルギー物質：乳／卵／小麦／牛肉／大豆

冷凍 普 年中

【製造者】株式会社清水フードサービス (北海道上川郡)



18 SP-330

税込**4,860円** (本体4,500円)

内容：ももハム310g／熟成乾塩ベーコン180g 各1個
アレルギー物質：豚肉

取扱期間：6/16～7/23

冷蔵 簡易 短保 年中

【販売者】エア・ウォーター・アグリ&フーズ株式会社 (大阪府摂津市)



19 DLG-57

税込**5,400円** (本体5,000円)

内容：熟成乾塩ベーコン80g／生ハム(肩ロース) 40g／カントリーロースト72g／ペッパーシンケン72g／チーズリヨナー36g／あらびきポークウィンナー120g 各1個
アレルギー物質：乳／豚肉

取扱期間：6/16～7/23

冷蔵 簡易 短保 年中

【販売者】エア・ウォーター・アグリ&フーズ株式会社 (大阪府摂津市)



**20 白バラ牛乳
生ロールケーキギフト**

税込**3,999円** (本体3,703円)

内容：白バラ牛乳生ロールケーキ 264g／白バラコーヒー生ロールケーキ 256g 各1個
アレルギー物質：乳／卵／小麦／大豆／ゼラチン

冷凍 短保 年中

【製造者】大山乳業農業協同組合 (鳥取県東伯郡)



**21 ハケ岳野辺山高原
レアチーズケーキ**

税込**4,299円** (本体3,981円)

内容：レアチーズケーキ(プレーン) 12個
アレルギー物質：乳／大豆

全 短保 年中

【販売者】株式会社ヤツレン (長野県南佐久郡)

特別受注品

おいしい魅力が日本にある
国産たくさん!ごちそうさん!!ギフト

税込 **6,696円** (本体 6,200円) ※送料込み



受注期間

第1回 2025年6月1日~6月20日

第2回 2025年6月21日~7月20日

発送日

第1回 2025年7月17日

第2回 2025年8月20日

【商品内容】

- 全酪ゴーダ 125g
 - 牛飼いのバター (加塩)
 - そのままでも美味しい国産シュレッドチーズ
 - 酪農家ぬるチーズ
 - 東毛酪農カマンベールチーズ
 - 大山乳業クリームチーズ
 - よつ葉 北海道ミルクのスープ (コーン、じゃがいも、アスパラガス)
- 〈アレルギー物質〉 乳/小麦/豚肉/鶏肉

ご注文方法



← オンラインショップ QRコード

全酪連ギフトオンラインショップ
(<https://zenrakuren.stores.jp/>)

または所定の発注書にご記入の上、メールまたはFAXでご注文ください。

注意事項

- ※こちらの商品は特別受注品となります。
- ※受注期間が異なり、発送日が固定となりますのでご注意ください。
- ※納品日指定はできません。
- ※お申し込み後のご返品、お取り消しはいたしませんので予めご承知おきください。
- ※また、一部配送に制限のある地域がございます。
- ※商品は十分にご用意しておりますが、在庫がなくなり次第受注終了とさせていただきます。
- ※内容は予告なく変更となる場合がございます。ご了承ください。

全国酪農業協同組合連合会

- 本所 酪農部
- 札幌支所
- 仙台支所
- 名古屋支所
- 大阪支所
- 福岡支所

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-37-2 酪農会館
〒060-0003 札幌市中央区北 3 条西 7-1 酪農センター
〒980-0014 仙台市青葉区本町 2-10-28 カメイ仙台グリーンシティ 8F
〒460-0008 名古屋市中区栄 1-16-6 名古屋三蔵ビル 3F
〒532-0011 大阪市淀川区西中島 5-14-10 新大阪トヨタビル 6F
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南 1-2-15 事務機ビル 7F

TEL 03-5931-8008
TEL 011-241-0765
TEL 022-221-5381
TEL 052-209-5611
TEL 06-6305-4196
TEL 092-432-2121

FAX 03-5931-8025
FAX 011-241-0769
FAX 022-221-5384
FAX 052-209-5614
FAX 06-6305-4899
FAX 092-431-6313